

【資料3】

令和4年度 水道事業及び下水道事業の 予算と主要事業について

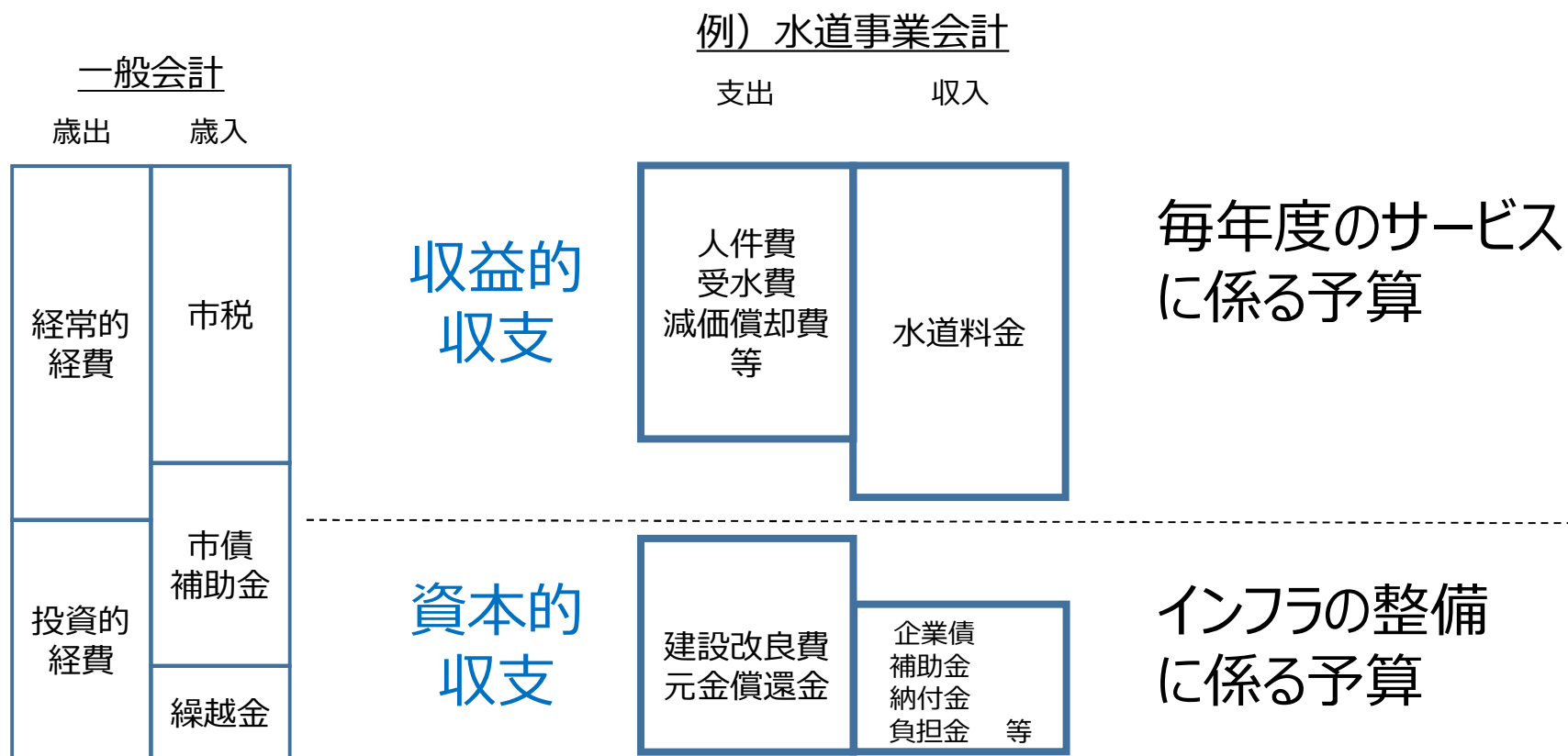


令和4年5月27日

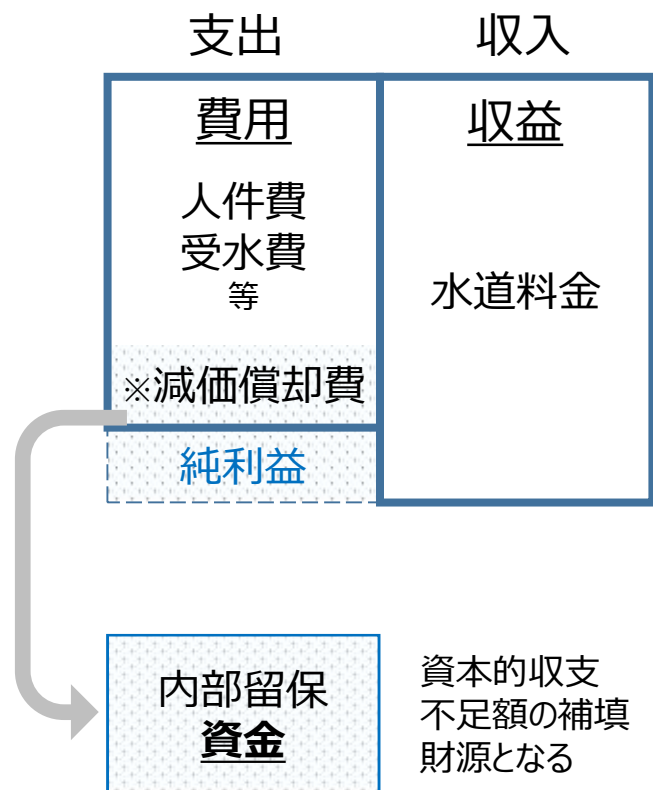
上下水道局 経営企画課

<input type="checkbox"/> 予算の仕組み	1
<input type="checkbox"/> 令和4年度予算 (水道事業会計)	5
<input type="checkbox"/> 令和4年度予算 (下水道事業会計)	11

企業会計の予算は2本立て



収益的収支



※【減価償却費】
固定資産（配水管、水源地施設等）の価値減耗を耐用年数に応じて費用化したもの。現金支出を伴わない経費

経営活動の予定目標を明示

➡損益計算書に相当（損益取引）

収入：サービスの対価

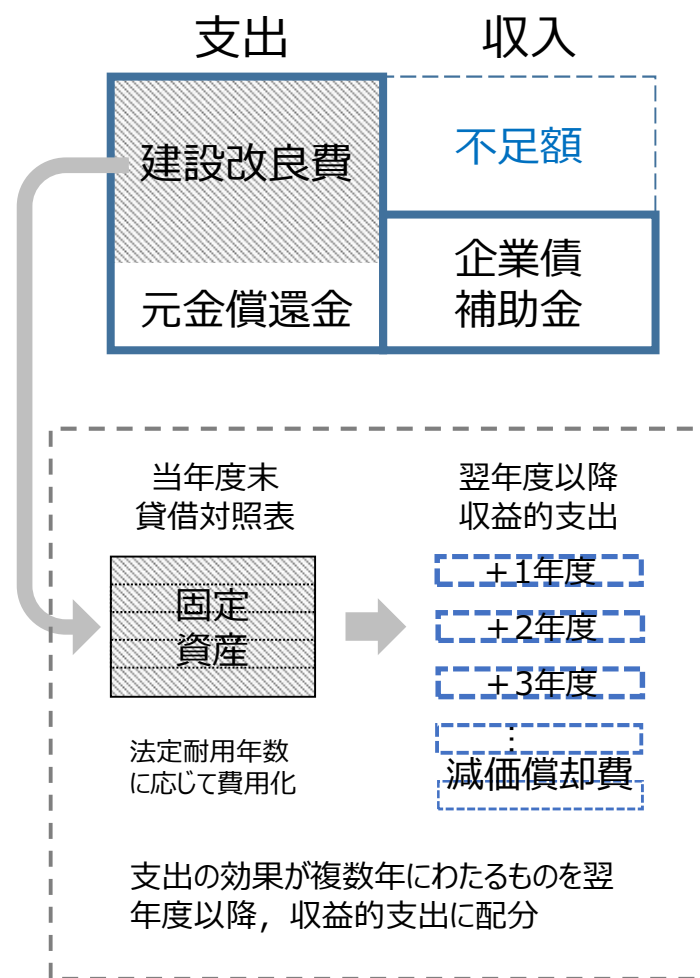
支出：サービスの提供に係る経費

通常 支出 < 収入

この収益的収支は通常、支出より収入が多くなるよう設定される。

➡利益及び現金支出を伴わない経費は自己資金として内部留保される。（現金等の裏付けあり）

資本的収支



インフラ整備の予定を明示

➡貸借対照表の増減（資本取引）

収入：インフラ整備に要する資金

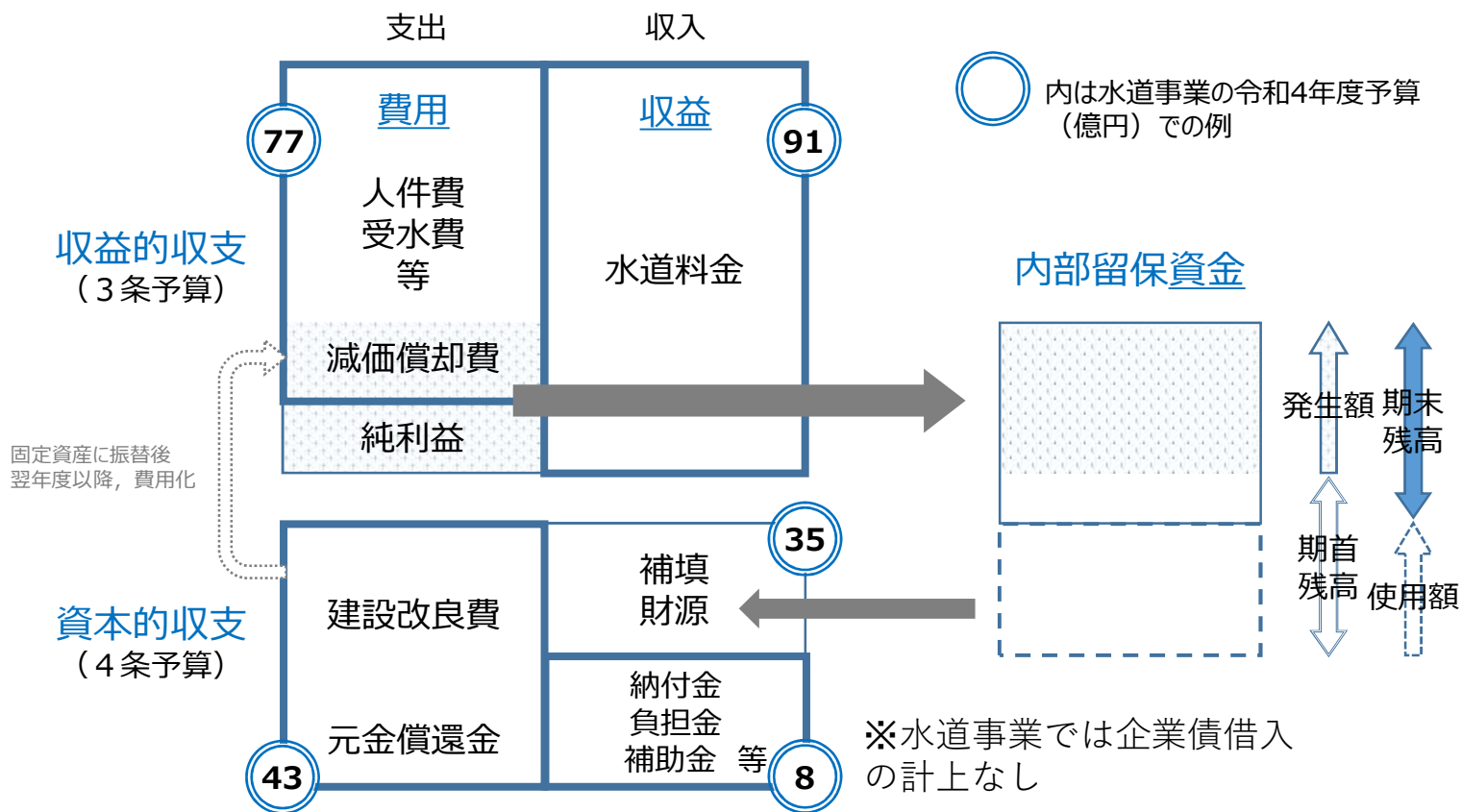
支出：整備費や償還金等

通常 支出 > 収入

この資本的収支は通常、収入より支出が大きく上回り収入不足となる。

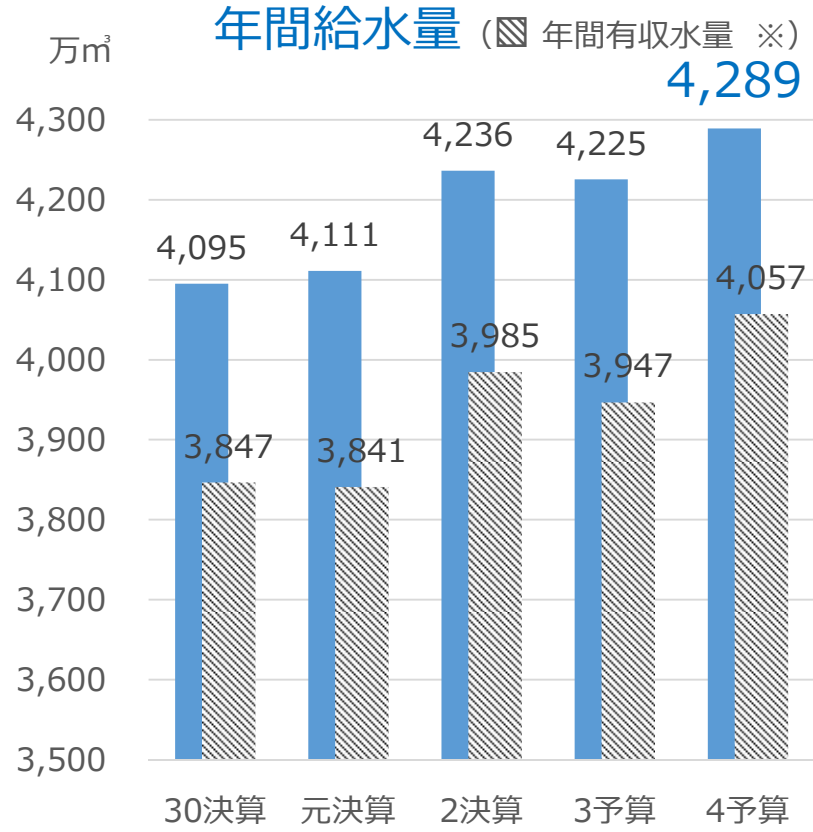
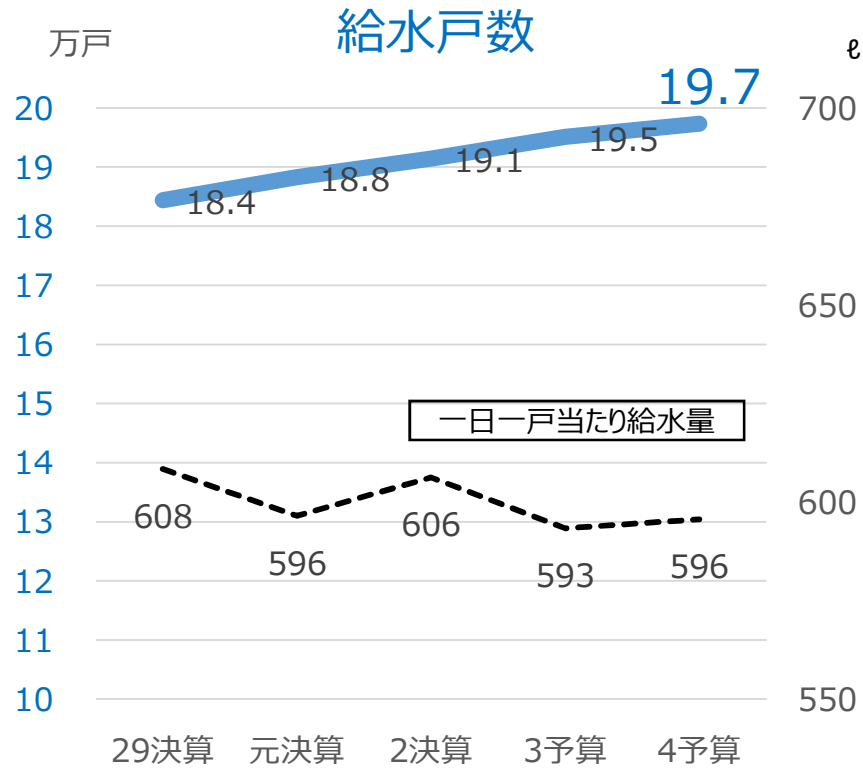
➡不足する額は、内部留保資金で補填する。

適正な利益の確保が必要



施設を正常に稼働し、安定的に水道水を供給をするためには、適切な料金設定のもと、一定の黒字を継続する必要がある。

業務予定量



※ 有収水量：料金徴収の対象となった水量

給水戸数 増
一戸当たりの使用量 横ばい

➡ 年間給水量 有収水量は伸びる

予算額

収益的収支

(単位：億円)

款	4年度 A	3年度 B	増減額 C (A-B)	伸率 (%) C/B
水道事業 収益	90.9	92.2	▲1.3	▲1.4
水道事業 費用	76.5	75.2	1.3	1.7
差引 (参考)	14.4	17.0	▲2.6	▲15.3

下水道事業からの受託収益が減少
修繕費，資産減耗費が増加

資本的収支

(単位：億円)

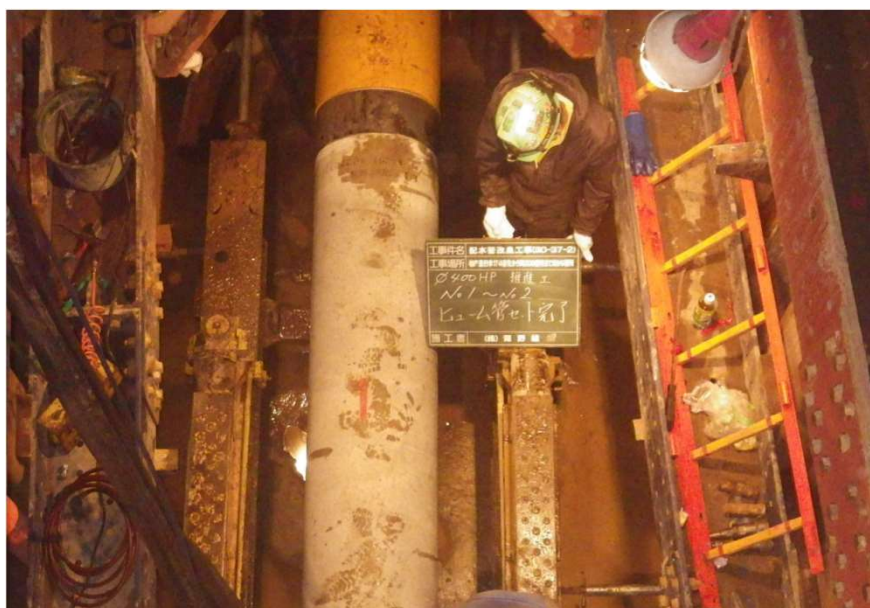
款	4年度 A	3年度 B	増減額 C (A-B)	伸率 (%) C/B
資本的 収入	7.8	8.4	▲0.6	▲7.1
資本的 支出	43.0	57.8	▲14.8	▲25.6
差引	▲35.2	▲49.4	14.2	▲28.7

建設改良費が減

主要事業

▶ 老朽管の更新・耐震化

(水道工務課) 約18億5千万円
更新延長 11.7km



▶ 水道部庁舎再整備 (継続費)

(総務課) 約2億円

令和元	2	3	4	総額
14.9	15.1	5.6	2.0	37.6



主要事業

▶ 老朽設備の更新

(施設管理課) 約9億2千万円

第六水源地監視制御装置及び管網処理
装置更新工事 ほか



▶ 新規管路の整備・拡充

(水道工務課) 約2億6千万円

	4年度予算	3年度予算
新設管布設 事業	1.4km 1.2億円	1.5km 1.6億円
北部地域区 画整理区域 内整備事業	2.5km 1.4億円	3.2km 1.7億円

主要事業

▶ 水源地施設の耐震化

(施設管理課) 約1億9千万円

第三水源地受水井更新工事 ほか



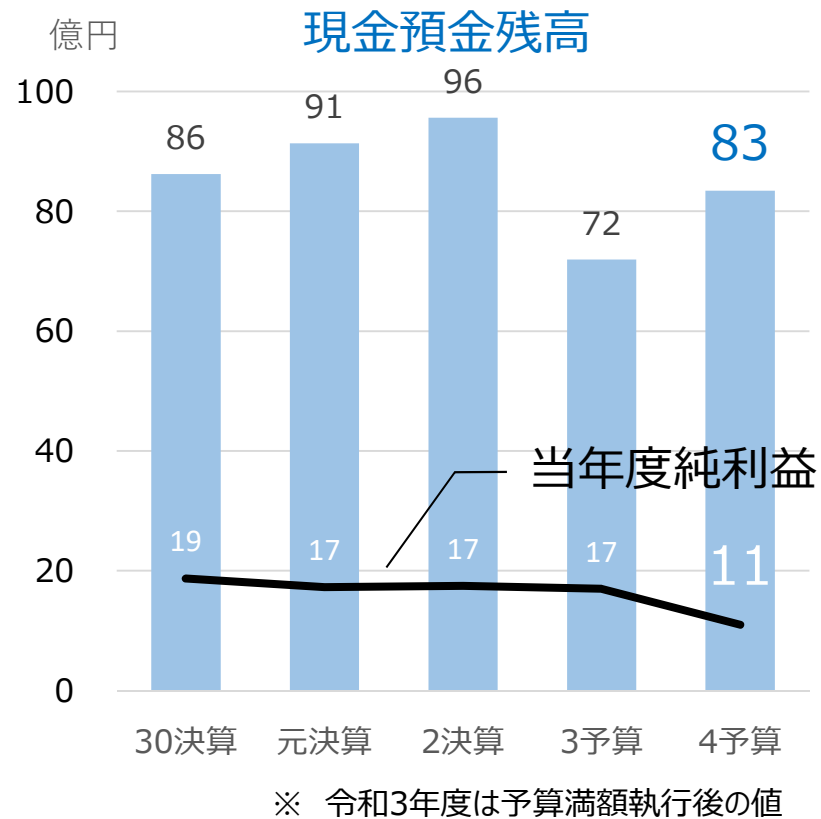
▶ 危機管理体制の強化

(総務課, 給排水課ほか) 約5千万円

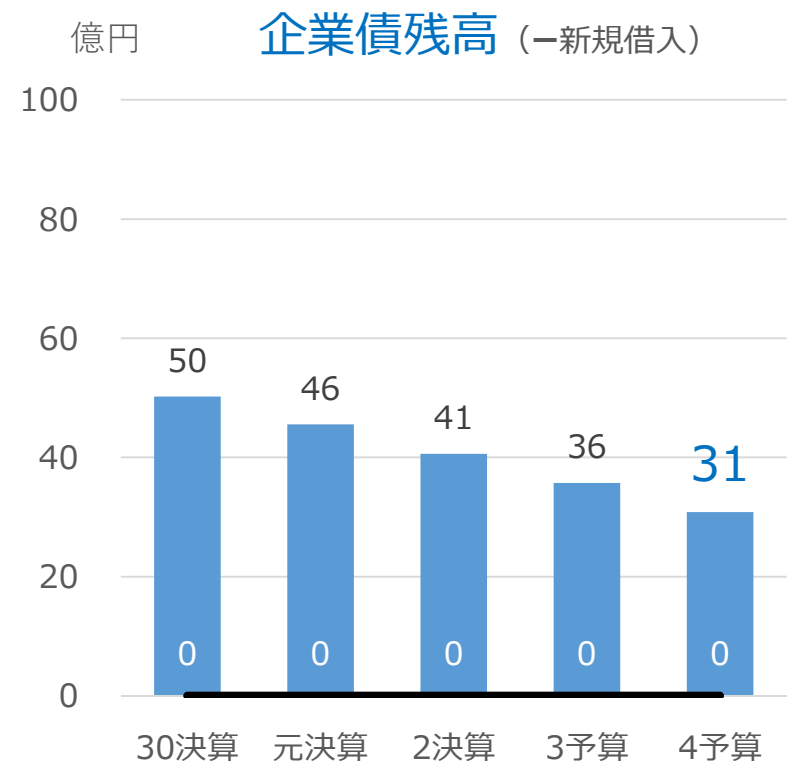
災害対応支援車両購入, 中型免許教習,
防災用備用品等



財務状況

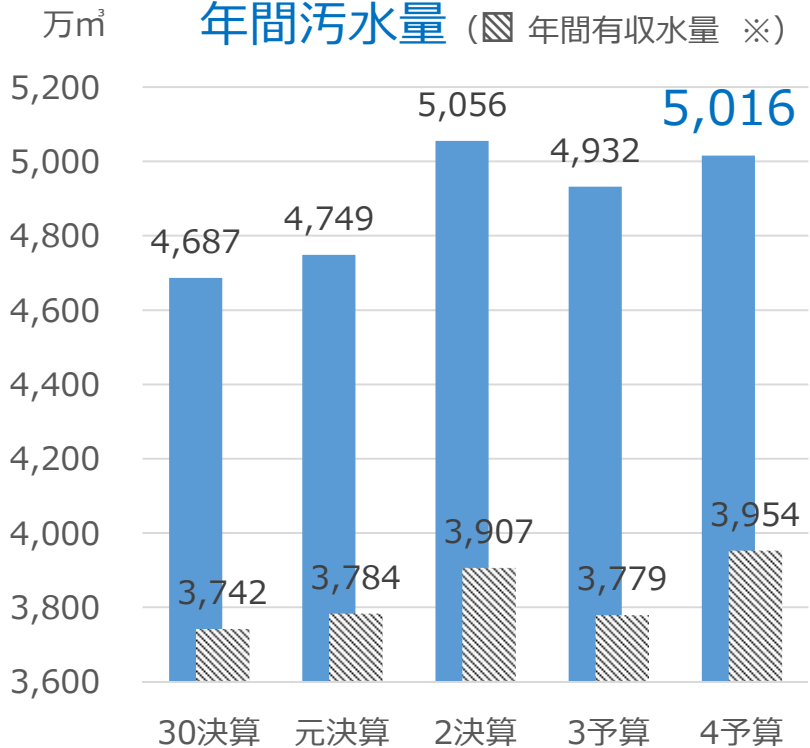
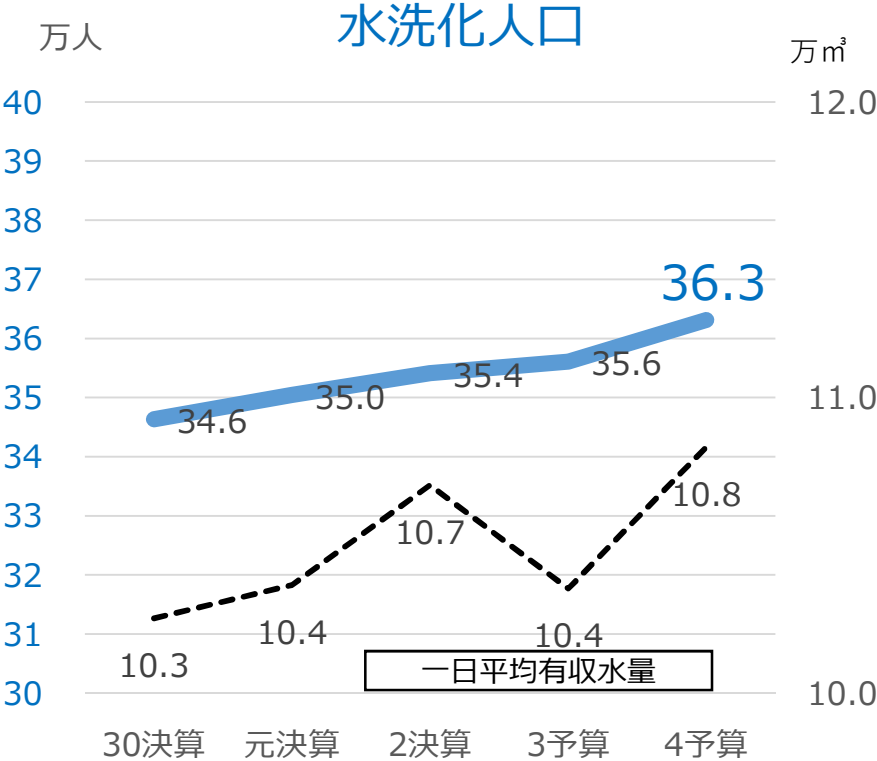


平成12年度以降、
黒字経営が続く。



平成27年度以降、
企業債の新規借入れなし。

業務予定量



※ 有収水量：料金徴収の対象となった水量

水洗化人口 増
一日平均有収水量 増

➡ 年間汚水量は増加傾向

予算額

収益的収支

(単位：億円)

款	4年度 A	3年度 B	増減額 C (A-B)	伸率 (%) C/B
下水道事業 収益	105.1	104.9	0.2	0.2
下水道事業 費用	100.4	102.2	▲1.8	▲2.2
差引 (参考)	4.7	2.7	2.2	14.9

企業債利息の減少

資本的収支

(単位：億円)

款	4年度 A	3年度 B	増減額 C (A-B)	伸率 (%) C/B
資本的 収入	43.5	43.5	0.0	0.0
資本的 支出	63.1	59.7	3.4	5.7
差引	▲19.6	▲16.2	▲3.4	▲20.9

建設改良費の増

主要事業

雨水関連整備（浸水対策）

（経営企画課・下水道工務課）

約9億9千万円

大堀川右岸第7号-2 雨水幹線工事

（平成28～令和4年度継続費）

北部地域区画整理区域内整備事業などを計上



▶ 汚水関連整備（未普及等）

（経営企画課・下水道工務課）

約13億2千万円

北部地域区画整理区域内整備事業と既成市街地を合わせ約18.4haの整備費などを計上



主要事業

▶ 老朽化対策

(下水道工務課) 約5億2千万円

包括的民間委託による公共下水道管路施設予
防保全型維持管理(改築)
(平成30~令和4年度継続)
下水道管路改築事業費

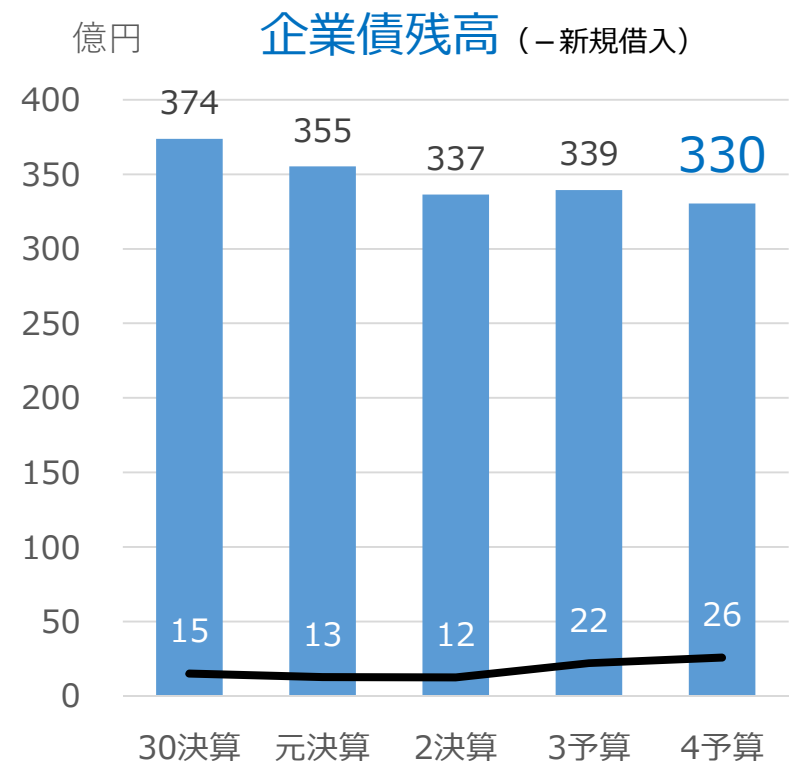
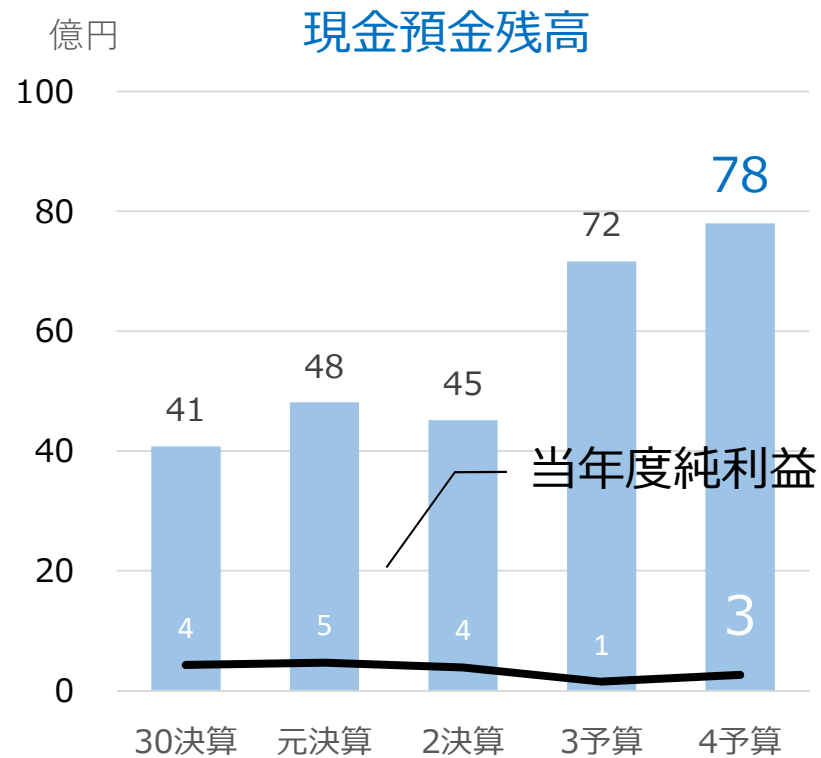


▶ 流域下水道整備

(経営企画課) 約3億円

手賀沼及び江戸川左岸流域下水道整備

財務状況



毎年度、利益を計上しているが一方、一般会計繰入金に頼ったまま

- ・企業債残高は減少
- ・事業に合わせ新規借入れを行っている